

科目名		世界史 (World History)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第2学年	制御工学科 物質工学科	履修	2単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【非常勤】野村 和代 (【副担当】岩元 修一)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1) 中国史における政治的な流れとそれに伴う外交や経済活動、またその中から生まれた文化や社会のあり様が理解できること。 (2) 各時代における国や地域のつながりを理解し、さらにその関係が時代によってどう変化していくのかを理解すること。 (3) 古代オリエント諸国の興亡とローマの建国からローマ帝国への変遷を理解すること。								
学習・教育目標	(F)	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	高等学校 改訂版 「世界史A」(第一学習社)								
補助教材等	「プロムナード世界史」(浜島書店)								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40						20	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎						◎	
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○						○	
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>グローバル化が進む現代では、自分や自国の視点からだけでなく、他社や他国の立場にも理解が及ぶ幅広い視野で物事を判断していかなければならない。全ての国には「今」を形成するそれぞれに積み重ねられた歴史や文化・思考様式があるが、限られた授業時間の中では全てを学ぶことはできない。故に、日本とはこれまでも、そしてこれからも大きくかわっていくであろう隣国・中国の歴史をメインに学び、また時代によって各国や各地域がどのようにつながってきたのかを学んでいく。</p> <p>授業は人物本位で話をしつつ、歴史を学ぶ楽しさを感じられるようにしていく予定なので、興味を持って授業に臨んで欲しい。</p> <p>「達成度評価」表の「その他」は配布プリントの提出を指す。しっかり自分でやる事。1回の授業で進む量はそう多くなく、その都度復習もしていくので、着実に学んでいけば取りこぼす事はないレベルの試験を行うので、再試はしない。教科書やプロムナードは必ず携帯のこと。また、授業中は集中して欲しい。授業以外の事をしてしていると減点の対象とするので注意して欲しい。</p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	・ガイダンス ・黄河文明	中国での文明の始まり、原始農耕文明が起こり、年代によって地域や特徴が変わっていく事を理解する事。	当該箇所の復習
2	殷王朝と西周王朝	最古の殷王朝と続く周王朝の政治体制のあり方の違いを理解し、漢字や血縁重視という東アジアに現代まで伝わる文化や習慣の発生を知る事。	当該箇所の復習
3	周王朝の東遷と春秋時代	周辺民族との関係とそれによって起こった政治的動きを理解する事。	当該箇所の復習
4	戦国時代と諸子百家	政治的には非常に混乱した時代にあつて、以降の東アジア社会に大きく影響を及ぼす思想が生まれたが、「諸子九流」の各学派の違いを理解する。	当該箇所の復習
5	諸子百家	「諸子九流」の各学派の違いを知り、「法家」思想が秦による中国統一の基礎を築いたことを理解する事。	当該箇所の復習
6	秦王朝	秦は統一した中国をどのような政策によって統治したか、また王朝がなぜ短命に終わったのかを理解する事。	当該箇所の復習
7	中間試験	中間まとめとして試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える事。
8	・試験返却と解答解説 ・前漢王朝	試験解説により、間違った箇所を理解する。漢王朝の成立の過程と政策を理解する事。	当該箇所の復習
9	前漢王朝	武帝の政策を理解する事。	当該箇所の復習
10	前漢王朝から新へ	武帝以降の前漢王朝のあり様と新による王朝の中断について理解する事。	当該箇所の復習
11	後漢王朝	劉秀による漢王朝再興とその後の後漢王朝のあり様について理解する事。	当該箇所の復習
12	漢王朝から三国時代へ	後漢と他地域との関係、さらに後漢末の混乱から三国へ向かう流れを理解する事。	当該箇所の復習
13	メソポタミア文明とエジプト文明	メソポタミアとエジプトの地理的な違いから王朝や民族の興亡、またそこで生まれた文化の違いを理解する事。	当該箇所の復習
14	オリエント諸民族とユダヤ教	地中海東岸の諸民族を活動を知り、ユダヤ教の成立の過程、また、オリエント世界の統一の流れを理解する事。	当該箇所の復習
	期末試験	期末試験を実施する。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える事。
15	・試験返却と解答解説 ・まとめ	試験解説により、間違った箇所を理解する。前期の学習事項のまとめを行う。	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	都市国家ローマとその対外的発展	ローマ社会の成り立ちと対外的発展に伴う社会の変化を理解する事。	当該箇所の復習
17	ローマの発展と社会の変化	対外的発展がもたらした社会の変化を理解する事。	当該箇所の復習
18	ローマの混乱と第一回三頭政治	社会の変化によって混乱するローマとそれを収めるための政治的な流れを理解する事。	当該箇所の復習
19	帝政前期のローマ	政治体制の変化を理解し、共和政の崩壊、帝政の開始について理解する事。	当該箇所の復習
20	キリスト教の成立	混乱したローマの状況と、その領内でキリスト教が生まれた過程を理解する事。	当該箇所の復習
21	キリスト教の発展とローマ社会	キリスト教がどのようにローマ帝国内で受け入れられていったか理解する事。	当該箇所の復習
22	帝政後期のローマ	様々な要因の中、崩壊に向かうローマ帝国とキリスト教の関係について理解する事。	当該箇所の復習
23	中間試験	中間まとめとして試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える事。
24	・試験返却と解答解説 ・魏晋南北朝の概説と北魏	試験解説により、間違った箇所を理解する。 中国の魏晋南北朝の流れをつかみ、各時代の特徴を知り、北魏の政策を理解する事。	当該箇所の復習
25	魏晋南北朝の社会と文化	魏晋南北朝の社会のあり様と文化、特に仏教の受容について理解する事。	当該箇所の復習
26	魏晋南北朝の文化と周辺諸国との関係から隋の統一	魏晋南北朝の文化と周辺諸国との関係を知り、隋による統一政策について理解する事。	当該箇所の復習
27	唐王朝の成立と発展	隋の滅亡と唐の統一、さらに律令体制や都市の繁栄の様子を理解する事。	当該箇所の復習
28	唐王朝の動揺	武韋の禍による政治的混乱から玄宗による中興を理解する事。	当該箇所の復習
29	唐王朝の滅亡から宋の建国	安史の乱による社会の混乱から唐の滅亡、五代十国の時代を経て、宋建国の過程を理解する事。	当該箇所の復習
	期末試験	期末試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える事。
30	・試験返却と解答解説 ・まとめ ・授業改善アンケートの実施	試験解説により、間違った箇所を理解する。 後期の学習事項のまとめを行う。	
総授業時間数			60時間